

パーソナルオーディオシステム

リファレンスガイド



SRS-X1



* 4 5 4 1 6 3 4 0 2 * (1)

お買い上げいただき、ありがとうございます。

警告 電気製品は安全のための注意事項を守らないと、火災や人身事故になることがあります。

このリファレンスガイドには、事故を防ぐための重要な注意事項と製品の取り扱いかたを示しています。**リファレンスガイドおよびクイックスタートガイドをよくお読みのうえ**、製品を安全にお使いください。お読みになったあとは、いつでも見られるところに必ず保管してください。

警告 安全のために

ソニー製品は安全に充分配慮して設計されています。しかし、電気製品はすべて、まちがった使いかたをすると、火災や感電などにより人身事故になることがあり危険です。事故を防ぐために次のことを必ずお守りください。

安全のための注意事項を守る

この「安全のために」の注意事項をよくお読みください。

定期的に点検する

1年に一度は、ほころがたまっていないか、故障したまま使用していないか、などを点検してください。

故障したら使わない

動作がおかしくなったり、破損しているのに気づいたら、すぐにソニーサービス窓口 に修理をご依頼ください。

万一、異常が起きたら

変な音・においがしたら、煙が出たら

- 電源を切る
- マイクロUSBケーブルを抜く
- ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口 に修理を依頼する

警告表示の意味

取扱説明書および製品では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

危険

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電・漏液・発熱・破裂などにより死亡や大けがなどの人身事故が生じます。

警告

この表示の注意事項を守らないと、火災・感電などにより死亡や大けがなど人身事故の原因となります。

注意

この表示の注意事項を守らないと、感電やその他の事故によりけがをしたり周辺の家財に損害を与えたりすることがあります。

注意を促す記号



行為を禁止する記号



行為を指示する記号



危険 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**死亡**や**大けが**の原因となります。

火の中に入れない



分解しない

故障や感電の原因となります。充電式電池の交換、内部の点検および修理はソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご依頼ください。



火のそばや炎天下などで充電したり、放置しない



警告 下記の注意事項を守らないと**火災・感電・発熱・発火**により**やけど**や**大けが**の原因となります。

車の中で使用しない

スピーカー本体がブレーキペダルの下などに落下して、運転の妨げになり、事故やケガの原因となることがあります。



内部に水や異物を入れない

万一、水や異物が入ったときは、すぐに使用を中止し、ソニーサービス窓口にご相談ください。



本機背面の端子や通風孔に異物を入れない

端子などがショートして、誤動作や故障の原因となることがあります。



本体を布団などでおおった状態で使わない

熱がこもってケースが変形したり、火災の原因となることがあります。



自然放熱を妨げない

布をかけたり、毛足の長いじゅうたんや布団の上または本箱や組み込み式キャビネットのような通気が妨げられる狭いところに設置しないでください。壁や家具に密接して置いて、自然放熱の妨げになるようなことはしないでください。過熱して火災や感電の原因となることがあります。



注意 下記の注意事項を守らないと**けが**をしたり**周辺の家財に損害**を与えたりすることがあります。

はじめから音量を上げすぎない

突然大きな音が出て耳をいためることがあります。音量は徐々に上げましょう。とくに、デジタルオーディオプレーヤーなど、雑音の少ないデジタル機器を聞くときにはご注意ください。



通電中の製品に長時間ふれない

長時間皮膚がふれたままになっていると、低温やけどの原因になることがあります。



本機を航空機内で使わない

電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。



本機を医療機器の近くで使わない

電波が心臓ペースメーカーや医療用電気機器に影響を与えるおそれがあります。満員電車などの混雑した場所や医療機関の屋内では使わないでください。



本機を心臓ペースメーカーの装着部位から22 cm以上離す



電波によりペースメーカーの動作に影響を与えるおそれがあります。

本機を自動ドア、火災報知器などの自動制御機器の近くでは使わない



電波が影響を及ぼし、誤動作による事故の原因となるおそれがあります。

本機は、国内専用です

海外では国によって電波使用制限があるため、本機を使用した場合、罰せられることがあります。



電池についての安全上のご注意

液漏れ・破裂・発熱・発火による**大けが**や**失明**を避けるため、下記の注意事項を必ずお守りください。

本機ではリチウムイオン電池を使用しております。

充電電池
内蔵リチウムイオン充電電池

危険 充電式電池が液漏れしたとき

充電式電池の液が漏れたときは**素手で液をさわらない**。液が本体内部に残ることがあるため、ソニーの相談窓口またはソニーサービス窓口にご相談ください。
液が目に入ったときは、失明の原因になることがあるので目をこすらず、すぐに水道水などのきれいな水で充分洗い、ただちに医師の治療を受けてください。
液が身体や衣服についたときも、やけどやけがの原因になるので、すぐにきれいな水で洗い流し、皮膚に炎症やけがの症状があるときには医師に相談してください。

警告 充電式電池について

- 火の中に入れない。分解、加熱しない。
- 火のそばや直射日光の当たるところ・炎天下の車中など、高温の場所で使用・保管・放置しない。

本機を廃棄する

注意 日本国内での充電式電池の廃棄について



機器に内蔵されている充電式電池はリサイクルできます。

この充電式電池の取りはずしはお客様自身では行わず、「ソニーの相談窓口」にご相談ください。

Li-ion

充電式電池の回収・リサイクルおよびリサイクル協力店については一般社団法人JBRCホームページ
<http://www.jbrc.com/>を参照してください。

防水について（ご使用前に必ずお読みください）

本機の防水性能について

本機は、JIS C 920 「電気機械器具の外郭による保護等級 (IPコード)」の “水の浸入に対する保護等級” であるIPX7*¹ 及びIPX5*² 相当の防水仕様*³ となっていますが、完全防水型ではありません。故意にお風呂の温水や水中に落下させたり、水中で使用したりしないでください。

また、使いかたによっては内部に水が入り、火災や感電、故障の原因となる恐れがあります。

以下の点を充分にご理解、ご確認のうえ、ご使用ください。

防水の対象となる液体

対象	真水、水道水、汗
非対象	上記以外の液体 (例: 石けん水、洗剤や入浴剤の入った水、シャンプー、温泉水、お湯、プールの水、海水など)

*¹ IPX7（浸水に対する保護等級）：常温の水道水（静水）の入った水深1 mの水槽に本体を静かに沈め、約30分間水底に放置しても、本体内部に浸水せず本体機能を保ちます。

*² IPX5（噴流に対する保護等級）：内径6.3 mmのノズルを用いて、約3 mの距離から約12.5 ℓ / 分の水を3分以上注水する条件で、あらゆる方向からの水の直接噴流によっても、本体機能を保ちます。

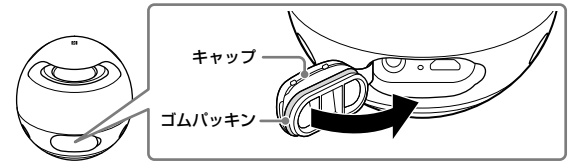
*³ キャップが完全に装着されている状態であること。

防水性能については、上記条件による当社判定に基づいたものです。お客様の誤った取り扱いが原因の浸水による故障は保証対象外となりますので、あらかじめご了承ください。

防水性能を保つために

下記の点をご確認のうえ、正しくご使用になってください。

- 本機を温度が非常に高いところ（約35℃以上）や低いところ（約5℃以下）で使用したり、放置したりしないでください。上記範囲外で使用したり放置したりすると、内部回路の保護のために、自動的に動作が停止する場合があります。
- 本機を落下させたり、衝撃を与えたりしないでください。変形や破損により、防水性能劣化の原因となることがあります。
- 激しく水や温水のかかる場所での使用は避けてください。本機は、耐水圧設計ではありません。高い水圧がかかる場所での使用は故障の原因となりますので、避けてください。
- 高温のお湯を直接かけたり、ドライヤーなど熱風を直接あてないでください。またサウナやコンロの近くなど高温になる場所での使用は絶対にしないでください。
- キャップの取り扱いに注意してください。キャップは、防水性能を保持するために大変重要な役割を果たしています。ご使用の際は完全に閉まっていることを確認してください。異物が付着していたり、ゴムパッキンの挟み込みなどによりすき間があって完全に閉まっていない場合には、防水性能を保持できないばかりか、内部に水が入り込み故障の原因になる場合もあります。
- ゴムパッキンは、キャップの開閉などによって浮く場合があります。この場合は、キャップの溝にそって均一に入れてください。



- キャップに使用しているゴムパッキンは、長時間の使用や環境によってひび割れや変形するおそれがあります。防水性能を保持するために定期的に点検／交換（有償）されることをお勧めします。詳しくは、ソニーの修理相談窓口（裏面）にご相談ください。

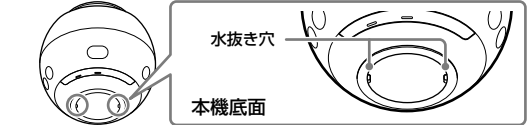
本機がぬれた場合のお手入れのしかた

本機に水がかかったり、水に浸してしまった場合は、まず水抜きをしてから、本機に付着した水滴を乾いたやわらかい布などで拭き取ってください。特に寒冷地などでは、水滴が付着したまま放置すると凍結する恐れがあります。故障の原因となりますので、使用後は必ず水滴を拭き取るようにしてください。

乾いた布やタオルなどを下に敷き、水分が完全になくなるまで常温で放置し乾燥させてください。

水抜きをするには

- 表面の水滴を乾いた柔らかい布などで拭く。
- 本体の底部を、乾いた柔らかい布などに20回程度、軽くたたくように当てる。
- 乾いた布などを下に敷き、2～3時間程度常温に放置する。
本機底面の穴から水分が抜けます。



汚れのひどい時は洗剤や薬剤を使用せず水道水で軽く洗い流してください。その後は上記の手順で本機の水を切ってください。

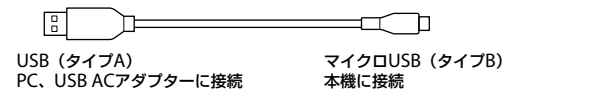
使用上のご注意

携帯電話について

- 携帯電話から本機へ音楽を送信しているときに、着信があった場合の携帯電話の動作について、詳しくはお使いの携帯電話の取扱説明書をご覧ください。

マイクロUSBケーブルについて

- 本機に付属のマイクロUSBケーブル（下図）をお使いください。



取り扱いについて

- スピーカーユニット、内蔵アンプ、キャビネットは精密に調整してあります。分解、改造などはしないでください。
- 次のような場所には置かないでください。
 - 直射日光の当たった所、暖房器具の近くなど、温度の高い所
 - 窓を閉め切った自動車内（特に夏季）
 - ほこりの多い所、砂地の上
 - 時計、キャッシュカードなどの近く（録音済みテープや時計、キャッシュカード、フロッピーディスクなどは、スピーカーに近づけないでください。）
 - 激しい振動のある所
- 平らな場所に設置してください。
- 設置条件によっては、倒れたり落下したりすることがあります。貴重品などを近くに置かないでください。
- 持ち運ぶ際、フロッピーディスクやクレジットカードなど磁気の影響を受ける物は、スピーカーシステムの近くに置かないでください。

その他のご注意

- 長い間使わなかったときは、充電式電池の持続時間が短くなることがあります。何回か充放電を繰り返すと、充分に充電できるようになります。
- 長期間使用しない場合、電池の劣化を防ぐため、半年に1度充電を行ってください。
- 長い間使わなかったときは、充電時間が長くなる場合があります。
- 使用可能時間が極端に短くなった場合は、充電式電池の寿命と考えられます。充電式電池の交換については、ソニーの相談窓口にご相談ください。
- 他に疑問点や問題点がある場合は、もう一度この取扱説明書をよく読んでから、ソニーの相談窓口にご相談ください。

